

算 数	平成30年度 入学試験 2月1日 特待生 解答用紙	受験番号	氏 名	評 点

①	(1)	(2)	②	(1)	(2)
	5.9	$\frac{11}{4}$		8 %	18.42 cm

②	(3)	(4)
	80 cm ³	<p>図や式や考え方</p> <p>$91 = 7 \times 13$ より 分子が 7 の倍数か 13 の倍数であればよい。</p> <p>1 から 90 までのうち、7 の倍数は $90 \div 7 = 12 \dots 6$ より 12 個</p> <p>1 から 90 までのうち、13 の倍数は $90 \div 13 = 6 \dots 12$ より 6 個</p> <p>7 と 13 の最小公倍数は 91 で、これは 1 から 90 までに存在しない。</p> <p>よって 約分できる分数は $12 + 6 = 18$ (個) 答 18 個</p>

(5)	(6)
<p>図や式や考え方 480円</p> <p>A駅からB駅までは $660 - 430 = 230$ (円) がかかる。</p> <p>よって、B駅からC駅までは $480 - 230 = 250$ (円) がかかる。</p> <p>答 250 円</p>	<p>図や式や考え方</p> <p>妹が出發して 2 時間で $6 \times 2 = 12$ (km) 進んだことになるので、</p> <p>この時点で、妹と姉は $36 - 12 = 24$ (km) はなれている。</p> <p>よって 姉が出發してから</p> <p>$24 \div (6 + 10) = 1.5$ (時間) で 2 人は出会う。</p> <p>答 1.5 時間後</p>

③	(1)	(2)	(3)
	36 m ³	90 m ³	90 m ³
(4)			
<p>図や式や考え方</p> <p>大きい水そうが満水になるのは、ポンプCを使い始めてから、</p> <p>$90 \div 36 = 2.5$ (時間後) である。</p> <p>よって、</p> <p>大きい水そうが満水になるのにかかる時間は、ポンプAを使い始めてから</p> <p>$2 + \frac{1}{3} + 2.5 = 4\frac{5}{6}$ (時間) である。</p> <p>(= 4時間50分)</p> <p>小さい水そうが満水になるのにかかる時間は、</p> <p>$90 \div 18 = 5$ (時間) である。</p> <p>したがって、</p> <p>$5 - 4\frac{5}{6} = \frac{1}{6}$ (時間) = 10 (分)</p> <p>大きい水そうが満水になってから 10 分後に 小さい水そうが満水になる。</p> <p>答 10 分後</p>			

④	立候補者	当選する可能性	理 由
	Aさん	あり・なし	残りの5票がAに入っても8票であり、15票以上にならないから。
	Bさん	あり・なし	残りの5票すべてがBに入ると15票となり、当選するから。
	Cさん	あり・なし	残りの5票のうち3票以上がCに入ると15票以上になり当選するから。